

〔皇大神宮年中行事〕二十一日旬神拜事

皇神達皆其坐方向蹲踞拜也。件神拜以往御河有入江黑木橋渡仍號御橋神拜

〔詠大神宮二所神祇百首和歌冬〕網代

宇治川ヤ黒木ノ橋ノナカリセバ網代モヤナモ打ベキ物ヲ

山城ノ宇治川ニハ網代ナドモ在ドモ、コノ宇治川奉^レ恐以テ羨也、○也 恐黒木ノ橋内外ノ宮有

之

檜橋

八雲御抄地儀橋ひ檜萬いちゐづのひばりと

〔藻鹽草五雜〕檜橋ばいしひといづりのひ

〔倭訓栞中比編二十一〕ひばし 檜橋の稱あり、萬葉によめり

〔萬葉集十六有由緒并雜歌〕長忌寸意吉麻呂歌八首

刺名倍爾湯和可世子等櫟津乃檜橋從來許武狐爾安牟佐武

〔藻鹽草橋〕^五いた橋の字板なくて、の

〔易林本節用集乾伊
坤〕板橋

〔倭訓釋伊中編二〕いたばし 唐詩に、人跡板橋霜と見えたり、草庵集に、

今朝はまた人のゆき、の跡もなし夜の間の霜のまゝの繼橋詩格に朝陽不到溪陰處留得横
橋一板霜とも見えたり、

堀河院御時百首和歌 雜橋

打わたすまきの板橋朽にけりまれにも人のこばいかにせん

〔夫木和歌抄二十一〕文應元年七社百首 はしどの

はしどの、まきの板橋いしばしにつゝきてのぼる山ぞかしこき